

### 複数の資料から情報を得て、自分の考えを具体的に書く

多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりすることに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、複数の資料から適切な情報を取り出し、それらに関連させながら自分の考えを具体的に書く学習を提案します。社会の中にある情報を自分と結び付けて考え、新たな気付きや問題意識を明らかにすることを狙いとします。

#### 課題の見られた問題の概要と結果

##### B2 情報に関連させて読む (2020年)

B2三 正答率 **23.3%** 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く。

#### 学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕B 書くこと ウ  
〔第2学年〕C 読むこと オ

### 授業アイデア例

#### 授業前の教師の準備

B2三についての生徒の解答の状況を「解答類型」(平成27年度 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

##### ● 「解答類型3」の生徒

予想した2020年の社会に自分がどのように関わりたいかを具体的に書くことができていない。

#### 第1時

- ① A, B, Cの資料を読み、二つ以上の資料の情報を関連させて考えたことや疑問に思ったことなどをノートに書く。
- ② ①で書いたノートを基に、どのような情報を関連させてどのように考えたのかを交流し、自分の考えを広げる。

6500メートルの深さまで潜ることができる有人潜水調査船があることに驚いたけれど、工場育ちのレタスがあることも驚いた。科学や技術の発達によって、今まで想像もしていなかったことが、どんどん現実になってきているのだね。



Aのグラフを見ると、科学や技術が発達することで人間らしさがなくなっていくのではないかと考えている人が多いね。でも、Bに書かれているような植物工場野菜が作られることで私たちの食生活が豊かになるのだとしたら、一概にそうとは言えないな。

Cの記事にあるように、家に居ながら深海などの映像を見ることができるのはすばらしいね。でも、色々なことを自分で体験せずに、映像だけで満足するようになると、Aにある「人間らしさ」が減ることにつながるのかもしれない。

- ③ 交流した内容を踏まえ、新たに考えたことや疑問に思ったことなどをノートに書き加える。

#### 第2時

科学や技術が発達することで、私たちの暮らしはどのように変わっていくと考えますか。また、あなたはどのように暮らしていきたいと考えますか。A, B, Cの中の二つ以上の資料から必要な情報を取り出し、それらに関連させながら自分の考えを具体的に書いてみましょう。



- ④ 第1時に書いたノートを参考にしながら、提示された課題についての自分の考えを書く。
- ⑤ 必要に応じて、学校図書館やインターネットなどを利用して、自分の考えを補足するための資料を収集する。

#### 〔書き直した文章の例〕

#### 第3時

- ⑥ 第2時に書いた文章を互いに読んで、二つ以上の資料から取り出した情報を関連させながら、自分の考えを具体的に書いているかどうかという観点で助言し合い、それを基に書き直す。



自分がどのように暮らしていきたいのかも書き足したらどうかな。

Aのグラフを見ると、「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」という意見に反対している回答者が1993年以降は2割未満ですが、私もこの意見に反対です。なぜなら、BのようにITを活用した植物工場があれば、いつでも新鮮な野菜が食べられて、人間らしく健康的に暮らすことができると思うからです。自分で調べてみたら、サラダ菜などの野菜を育てている植物工場もあることが分かりました。私は、科学や技術が発達することで、今以上に食生活が充実して大勢の人が生き生きと暮らすことができるようになると思います。~~だから、科学や技術の発達による暮らしの変化はよいと思いません。~~私は、今後、レタスなどの工場育ちの野菜を積極的に購入して食べてみたいと思います。また、友人にも試してみるように勧めるなど、科学や技術の発達による食生活の変化を楽しんで暮らしたいと思っています。

## 第2時及び第3時終了後の教師の分析

第2時及び第3時終了後に、書いた文章を分析する。

特に、授業前に把握した「解答類型3」に該当する生徒が、次のような内容を記述することができているかどうかを見る。

- 「どのように暮らしていきたいか」について、「どのように」を具体化して自分の考えを書いている。

第2時終了後に不十分だった生徒については、第3時の交流の様子を観察し、必要に応じて支援する。

### 教材例

- A 「人間らしさはへるか」の調査結果を表したグラフ（「日本人の国民性調査」統計数理研究所）
- B ITを活用した農業についてのインターネットからの情報
- C 有人潜水調査船「しんかい6500」に関する新聞記事

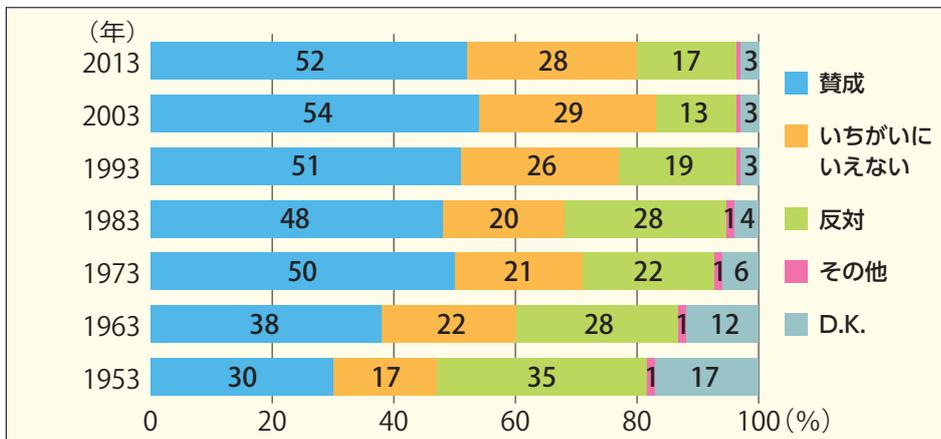
A

### 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？



※ D.K.= Don't Know の略。「分からない」、無回答などを含む。

※ 調査は20歳以上の男女個人を対象として実施。ただし、第11次調査(2003年)は20歳以上80歳未満、第13次調査(2013年)は20歳以上85歳未満の男女個人を対象として実施。

B

### 工場育ちのレタス？ 農業技術の最先端

2014年5月8日

今、農業でのIT (information technology 情報技術) の活用が世界中で注目されている。例えば、九州と同程度の土地面積のオランダは、コスト管理や栽培環境の制御にITを活用することなどで、農業輸出額が世界第2位の農業大国へと成長した。

日本でも、農業へのITの導入に注目が集まっている。例えば、ITを活用し、温度や光などを最適状態に保った上で、収穫、出荷の調整までを一貫して行う植物工場がある。レタスを栽培しているある植物工場では、無菌室を室温22度、1日約12時間光を当てるように制御している。作業員は全身を十分に洗浄し、無菌状態で作業に当たる。工場育ちのレタスは、普通よりも少し早い45日程度で出荷される。植物工場では、天候や季節に左右されず、安定した生産が可能になる。また、クリーンな栽培環境で生育した野菜は長持ちする。農業を使う必要もないので、安全性にも優れている。

このほかにも、人工衛星を活用した作物の管理や農業用ロボットの開発や実用化が進められている。

世界的な人口増加の中で、ITを活用した農業はこれからの食料生産を支えていくことになりそうだ。

C

### 全国新聞

2013年(平成25年)6月24日(月曜日)

022日、カリブ海の深海5000メートルから生中継が実現した。調査潜航する「しんかい6500」が光ファイバーケーブルをつなぎ、通信衛星を介してインターネットにより全世界に画像を配信した。深海中継は、模様が生中継する試みは世界初。海底(深さ5000メートル)に至るまでの経過や、熱水噴出孔から黒い熱水が吹き出る様子、その周辺に生息するエビなどの生き物や、撮影・配信に成功した。乗員6人は、この成功を喜び、乗員5人は、この成功を喜び、乗員3名が搭乗した。

「しんかい6500」が深さまで潜ることができた。有人潜水調査船「しんかい6500」は、太平洋、日本近海に限らず、大西洋、インド洋などで、海底の地形や地質、深海生物などの調査を行い、深海中継の達成した。13002回の潜航を達成した。

世界初！夢の映像  
深海からの生中継に成功

### 本授業アイデア例 活用のポイント!

- 「日本の人口推移を表したグラフ」(平成27年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A4, B2) や世の中の出來事について述べた新聞記事など複数の資料を組み合わせることで、同様の言語活動を構想することができる。また、自分でテーマを決めて複数の資料を集め、考えをまとめる学習活動も効果的である。